

# 碧南市地域公共交通計画【概要版】

## 1 計画策定の背景と目的

公共交通での移動は自家用車での移動と比較して健康的であると同時に、自家用車通行台数の抑制による温室効果ガスの削減にもなります。このように、公共交通の運行はまちのあらゆる分野へ効果を生み出すことが知られており、本市においては公共交通を確保・維持していく必要性があると考えています。

碧南市の人口は近年横ばい傾向にあります。将来的には減少に転ずることが予測されるとともに、65歳以上の高齢化率及び高齢者数はともに増加傾向にあるため、高齢者の移動需要に対応した公共交通サービスがより一層求められることが予測されます。また、碧南市人口ビジョンでは、しごとづくり・子育て環境づくり・地域づくりなど、他分野や多様な主体との連携を図ることで将来的にも人口維持をめざしているため、高齢者に限定せず、子育て世代も利用しやすく、元気あふれる本市のまちづくりと連携した持続可能な公共交通体系を構築するため、碧南市地域公共交通計画を策定します。

## 2 計画の対象地域と計画期間

本計画の対象地域は**碧南市全域**とし、計画期間は**2024年度～2028年度**とします。  
なお、周辺市町との公共交通相互の連携等に当たっては、個別に協議・調整を図ることとします。

## 3 地域公共交通の基本的な方針

<地域公共交通の基本的な方針>

**みんなが使う公共交通で支える 活気あるまち へきなん**

▼集約課題

▼基本目標

### 集約課題①

増加する高齢者をはじめ、幅広い世代が利用しやすく分かりやすい市内公共交通サービスの提供

### 集約課題②

公共交通に関わる全ての関係者が連携して、公共交通に対する意識を醸成しつつ、利用して元気になる取組みの実践

### 集約課題③

碧海5市及び西尾市・名古屋市等の広域的な移動ニーズに対応した公共交通の維持・活性化

### 基本目標1

市内の移動を支える公共交通の利用環境を改善します

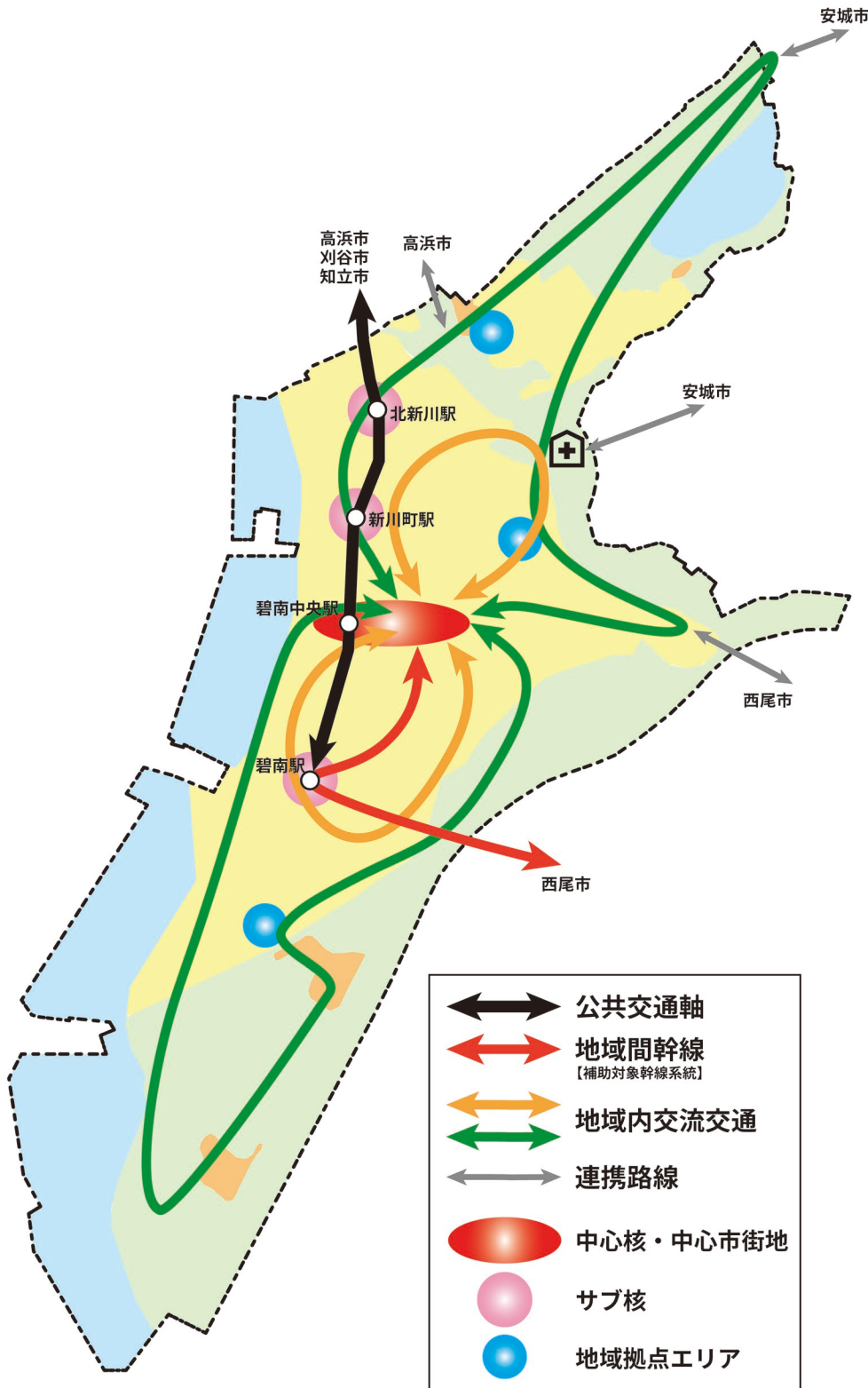
### 基本目標2

関係者が連携・協働し、みんなが元気になる取組みを展開します

### 基本目標3

人の流れに対応した広域公共交通ネットワークを維持・活性化します

## ▼地域公共交通の将来ネットワークイメージ



## ▼地域公共交通の役割と位置付け

公共交通軸	
該当路線	名鉄三河線
役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通勤・通学を主体としつつ、買物や観光など様々な移動目的に対応する路線</li> <li>●広域的な移動需要に対応する</li> </ul>
地域間幹線	
該当路線	ふれんどバス
役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>●碧南高校をはじめとした沿線に立地する高校への通学を主体としつつ、通勤や買物など様々な移動目的に対応する路線</li> <li>●鉄道駅や本市中心部などの交通結節点において、他の移動手段と連絡する</li> </ul>
地域内交流路線	
該当路線	くるくるバス
役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>●買物や通院目的を主体とした移動目的に対応する路線</li> <li>●利用可能な範囲で通勤・通学目的での利用にも対応する</li> <li>●市内の生活移動に対応する</li> </ul>
連携路線	
該当路線	あんくるバス 六万石くるりんバス いきいき号
役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本市と周辺市を結ぶ路線</li> <li>●本市内の公共交通と連携する</li> </ul>
個別輸送	
該当路線	一般タクシー
役割	●上記の公共交通では時空間的に対応できないニーズに対応

## 基本目標 1

## 市内の移動を支える公共交通の利用環境を改善します

- くるくるバスについては、利用特性に合った見直しを実施し、利便性の向上を図ります。
- 名鉄電車やふれんどバスについては、乗継環境の改善に向け、調査・研究を行います。
- タクシーについては、事業者と連携し、事業運営の維持及び利便性の向上につながる施策を検討します。
- 複合的な公共交通の利用を促進するため、総合交通マップを作成し、情報の提供を充実させます。
- 外国人にも利用しやすい公共交通とするため、多言語に対応した情報発信の取組みを進めます。
- 市内の生活移動を支える地域内交流交通について、民間事業者と協力・連携し、活性化を検討します。

## 〔目標指標〕

## ① 地域内交流交通の利用者数

〔2022年度〕 94,664 人/年	>>	〔2028年度〕 120,000 人/年
------------------------	----	-------------------------

## ② 一般タクシーの利用者数

〔2022年度〕 126,698 人/年	>>	〔2028年度〕 150,000 人/年
-------------------------	----	-------------------------

## ③ くるくるバス「商業施設」バス停の利用者数

〔2022年度〕 25.4 人/日	>>	〔2028年度〕 32 人/日
----------------------	----	--------------------

## 〔実施事業と主な内容〕

## A くるくるバスの利用環境の改善

商業施設などの最寄りバス停の移設をはじめとした、利便性向上のためのコース修正を行います。

## B 利用者目線の分かりやすい情報案内

総合交通マップの作成や車内放送によるバス停周辺施設の紹介をするなど、分かりやすい情報発信に取組みます。

## C タクシー運行の活性化

市内の個別移動手段として位置付けたタクシーについて、運転手不足などの課題に対して事業者と連携を推進します。

## D 地域内交流交通を補完する交通手段の検討

補完的な交通手段について、民間事業者と協力・連携して検討を行い、導入に向けた協議・調整を進めます。

## 基本目標 2

## 関係者が連携・協働し、みんなが元気になる取組みを展開します

- すべての市民が公共交通を主体として支える意識や愛着を醸成する取組みを実施し、公共交通の活性化に努めます。
- 公共交通を利用した外出につながる取組みを実施し、公共交通の利用促進に努めます。
- 利用者ニーズに対応した効率的な運行に向け、事業者や地域と連携し利用促進を図ります。
- 環境に配慮した公共交通のあり方を検討します。

## 〔目標指標〕

## ④ 関係者間で連携・協働して実施した利用促進事業の件数

〔2022年度〕 —	>>	〔2028年度〕 3 件/年
---------------	----	-------------------

## ⑤ 環境の配慮した車両の導入数（くるくるバス）

〔2022年度〕 0 台	>>	〔2028年度〕 2 台
-----------------	----	-----------------

## 〔実施事業と主な内容〕

## E 利用者が元気になる取組みの展開

公共交通を利用した外出機会の増加・創出に向けて、観光モデルコースの作成や、市内イベントと合わせた利用促進策の実施などに取組みます。

## F 公共交通が元気になる取組みの展開

市民や地域の公共交通に対する関心・愛着を醸成するために乗り方教室等を実施します。また、バス等の車両更新の際には、環境に配慮した車両の導入を推進します。

### 基本目標3

## 人の流れに対応した広域公共交通ネットワークを維持・活性化します

- 名鉄三河線については、市内の公共交通や周辺市と連携しながら路線の維持・活性化を図ります。
- ふれんどバスの活性化のため、市内区間における利便性向上などを検討します。

#### 〔目標指標〕

##### ⑥ 名鉄三河線の利用者数（市内4駅）

〔2022年度〕 4,185,118人/年 >> 〔2028年度〕 4,770,000人/年

##### ⑦ ふれんどバスの利用者数

〔2023年度〕 276,002人/年 >> 〔2028年度〕 300,000人/年

##### ⑧ 「ふれんどバスが走っていること」の認知度

〔2022年度〕 58.7% >> 〔2028年度〕 67%

#### 〔実施事業と主な内容〕

##### G 名鉄三河線の維持・活性化

市内各駅周辺のパークアンドライドやサイクルアンドライド\*を促進する取り組みを行います。

##### H ふれんどバスの維持・活性化

利便性の維持・向上を図るため、市内高校の入学式での定期券販売を継続するとともに、バス停の増移設などを検討します。

※鉄道駅等の周辺に自家用車や自転車を駐車・駐輪し、公共交通に乗り換えて移動すること。

## 6 計画評価の基本的な考え方

本計画で位置づけた事業は、事業計画、事業実施、評価・検証、改善策の検討といったP D C Aサイクル\*を毎年繰り返し実施することで、より良い公共交通の実現につなげます。

また、実施した事業の概要やその効果、目標の達成状況等について、碧南市地域公共交通活性化協議会において共有・公表することで改善につなげていきます。

なお、碧南市地域公共交通活性化協議会は、事業実施や評価・検証の機会を考慮し、必要に応じて適宜開催することとします。

※Plan（計画）・Do（実行）・Check（評価）・Action（改善）を繰り返すことによって、生産管理や品質管理などの管理業務を継続的に改善していく手法のこと。

#### ▼計画の評価・検証のスケジュール

